

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ボランティア・イーラの体制作りとプロモーション
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人伊那里イーラ (長野県上伊那郡飯島町飯島 2414-1)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,437,343 円 (うち支援金: 1,934,000 円)

事業内容

- ・地域のボランティア・シーズの掘り起しとプログラム化
26のプログラムを地域住民・団体とどのような活動ができるかを調べ、プログラムとして作成。
- ・イーラ・ボランティア・ガイドブックの作成
ガイドブックの作成およびWEBへの掲載。都市企業との交流を進めるうえで企業側に分かり易く関心を持ちやすい冊子を作成。企業の関心の高いSDGsとの関連も記載。
- ・都市企業へのプロモーション
ボランティア研修の試行及びガイドブックを活用した企業訪問の実施。



【ボランティア・ガイドブック】

【目標・ねらい】

- ①ボランティアガイドブックの作成
- ②連携企業の獲得
- ③交流人口の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ガイドブックは都市企業へ地域をPRする上で欠かせないツールであり、多くの住民と共に多様なプログラムを作成できたことは、今後のプロモーション活動に有効に活用でき、また紹介した企業の評価も高いものであった。また、都市部の連携団体からの紹介で2社の研修受け入れを行い、うち1社は平成30年度の実施が決定した。このように連携企業を増やしていくことで交流人口の増加が見込める。

※自己評価 【 A 】

【理由】
都市企業のガイドブックの評価は高く、また他地域でも作成されていない。また、2社のボランティア研修受け入れを実施できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

都市企業へのプロモーションを平成30年度から本格化し、企業受入数の増加を目指す。実際に受入が始まることで、地域の理解も深まり、プログラム数の増加や多様化も見込むことができる。9年後のリニア新幹線開通を見据え、都市からの受入企業数を一層増やしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある